

親しみやすい顔の見える関係づくり 町内会・自治会運営のヒント

2022年12月3日



株式会社GLOCAL DESIGN

酒本 宏

600以上の町内会・自治会の皆さんと意見交換

酒本 宏 (さけもと ひろし)

- 株式会社Glocal Design (グローカルデザイン) 代表取締役
- 株式会社KITABA 代表取締役

- 技術士 (都市及び地方計画部門・総合監理部門)
- 北海道大学工学部非常勤講師 (コミュニティデザイン)
- 北海学園大学非常勤講師
- 札幌市 まちづくりセンターアドバイザー
- 全国商店街支援センター・アドバイザー
- 一般社団法人 北海道観光を考えるみんなの会 事務局長
- 札幌市内の町内会の総務部長

プロジェクト(市民自治・コミュニティデザイン関連のみ)

- 2005年 札幌市市民活動促進条例策定支援
(市民まちづくり活動促進条例)
- 2006年 札幌市自治基本条例に関連した子どもワークショップ
- 2007年 「区民協議会のあり方等に係わるアドバイザー会議」運営業務
東区まちづくり参加入門講座コーディネーター
- 2008年 市民まちづくり活動基本計画策定支援
- 2009年 市民による集中評価会議コーディネーター
- 2011年 まちづくりセンター機能PRによる市民活動促進事業
- 2012年 地域力強化に向けた総合サポート事業企画運営業務
- 2013年 町内会による加入促進活動支援事業企画運営
- 2014年～札幌市、仙台市や函館市、千歳市、上富良野町、滝川市、
砂川市などで町内会活性化関連の講演などを多数
- 2020年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務
- 2021年 横浜市瀬谷区、埼玉県戸田市、北海道斜里町で講演

著書

- 道の駅／地域産業振興と交流拠点 編集・共著
- 「集落営農」／農山村の未来を拓く 共著
- 「ご当地ラーメン」の地域ブランド戦略 共著
- 「エコタウン」が地域ブランドになる時代 共著
- 農産物直売所／それは地域との「出会いの場」 共著
- 「村」の集落ビジネス 中山間地域の自立と産業化 共著 など

今日の話題

1. 町内会の現状と必要性・価値 P 4
2. 町内会・自治体の担い手不足対応のヒント P17
3. 新たなつながりで地域コミュニティを活性化 P26
4. 新たなつながりは3つの「かけ」から P30

1. 町内会の現状と必要性・価値

(1) 町内会・自治会の必要性・価値

地域の価値を高める



住んでみたいまち
住み続けたいまち

安心・安全なコミュニティ
適度な人のつながりと交流
災害時の助け合い
楽しい暮らし

町内会・自治会が
地域コミュニティを支える

地域コミュニティの担い手は町内会・自治会

- まちづくりや環境評価などでその効果を貨幣換算できない時に使う「ヘドニック法」をヒントにすると、町内会の活動の価値は以下のように考えることができます。
- 町内会の活動によって、助け合いや交流があり、安心なコミュニティが形成されていて、さらにごみ集積所の管理や清掃、花植えなどが行われ、不動産価格が周辺地域に比べ1,000円/坪高いと仮定します。
- その時の町内会の活動が生み出す価値
60坪(会員の住宅平均坪数) × 1,000円/坪 × 300世帯 = 1,800万円



町内会・自治会の活動は目に見えないだけで地域の価値を高めています

(2) 地域コミュニティはいま

高齢化



子育て支援



防災



孤独





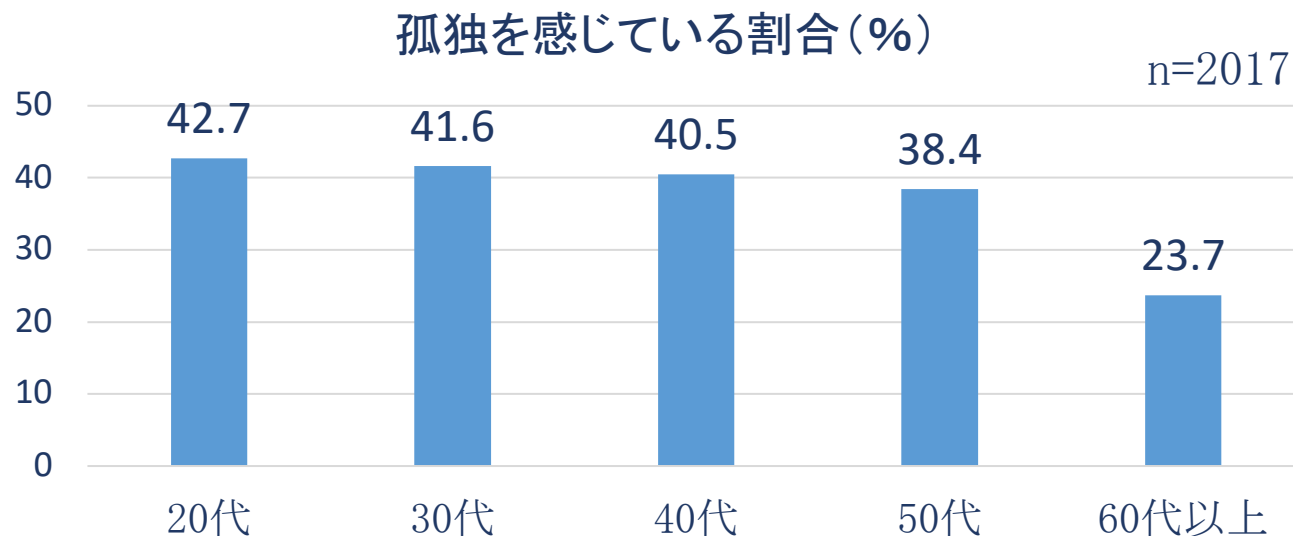
ヤングケアラー



空き家

●若い世代ほど「孤独」を感じている

「特定非営利活動法人あなたのいばしょ」と「国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)」が2022年2月に実施した「コロナ禍での人々の孤独に関する調査」では、孤独を感じている割合が最も高いのは20代で42.7%、最も低いのは60代以上で23.7%となっています。



(3) SNSでつながり活動する若い世代



子育て世代の交流スペース「hug*cafe BASE」

子育てサロン



学童保育



SNSでつながり
コミュニティをつくる



一時的な託児



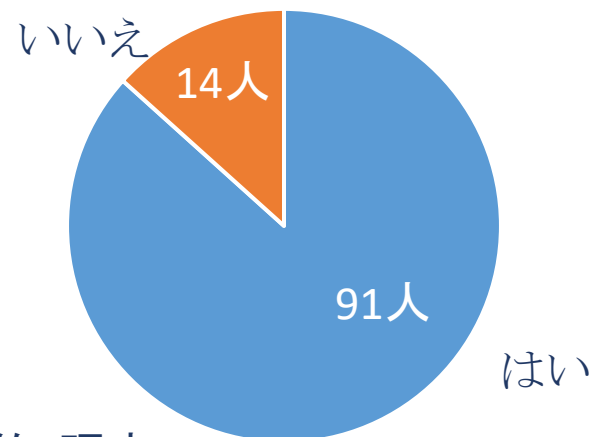
子ども食堂・地域食堂

● SNSを活用する子育て世代

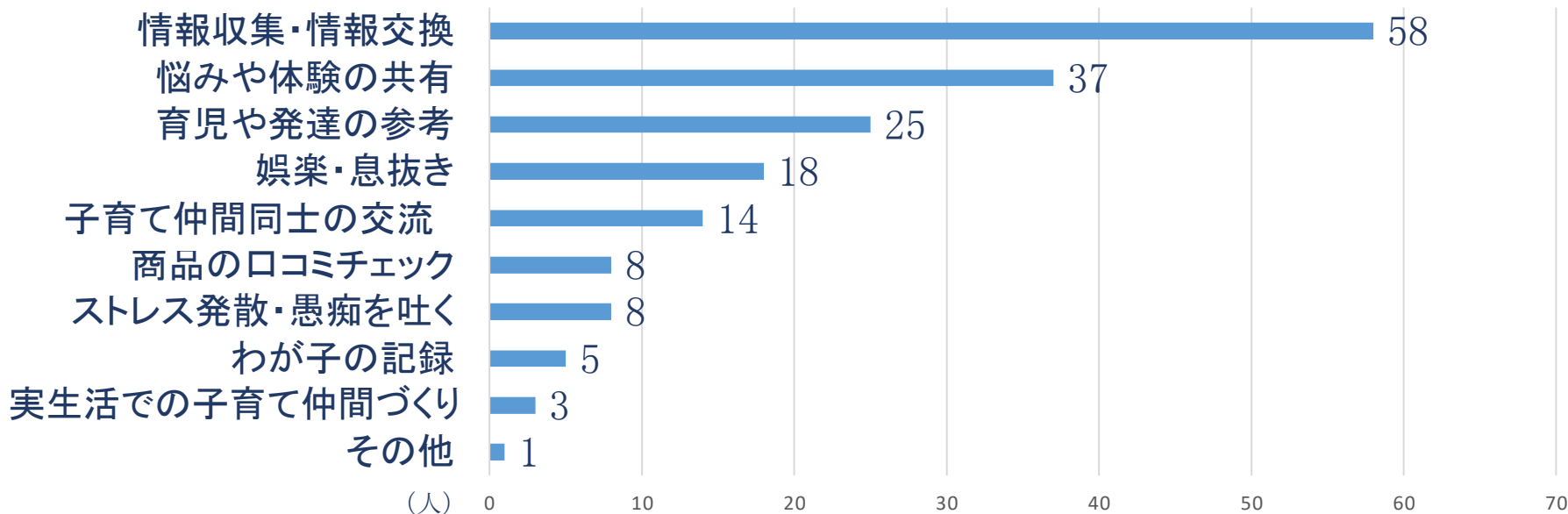
NHK Eテレ すくすく子育て情報 より

- 子育て世代は、「情報収集・情報交換」「悩みや体験の共有」「育児や発達の参考」などを目的に、SNSを活用しています。

子育てでSNSを使っていますか



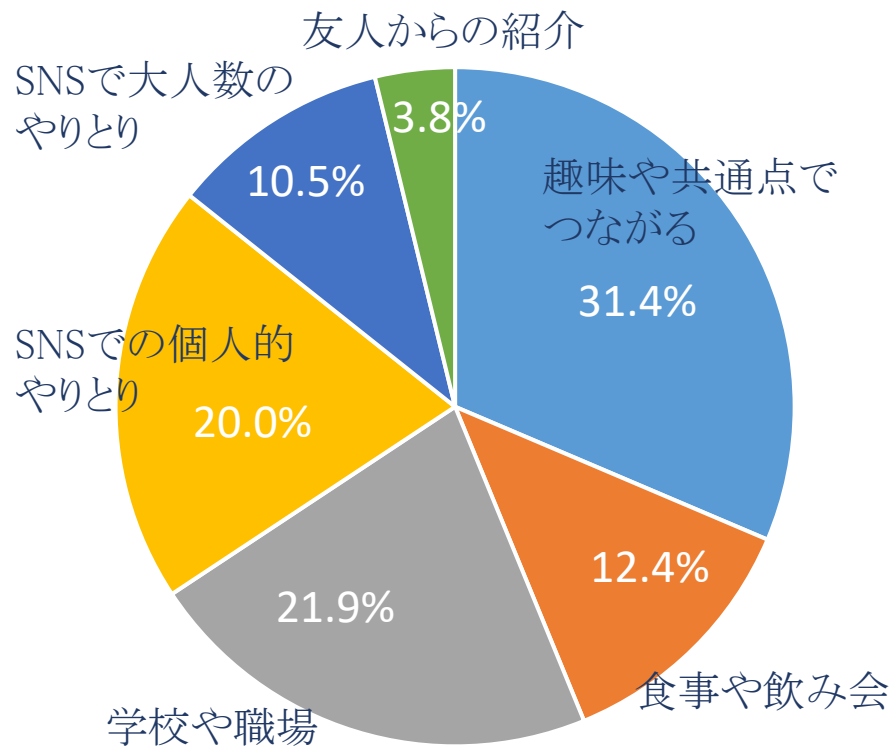
子育てでSNSを利用する目的・理由



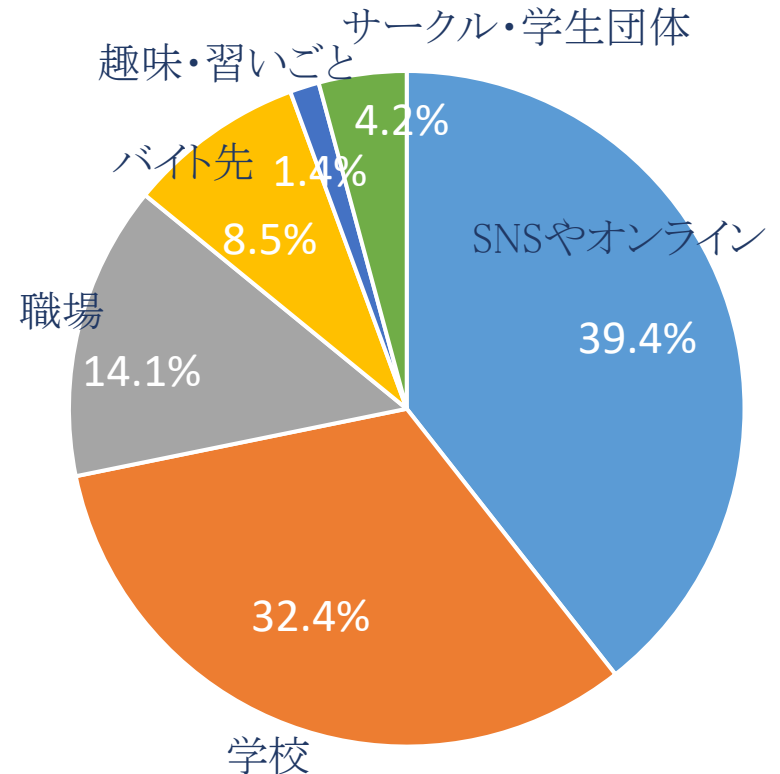
● SNSでひととのつながりをつくる若い世代

- 音声SNSアプリ「Wacha(ワチャ)」を運営する会社が、Z世代(1996年～2008年生まれ)を主なターゲットとして友達のつくり方などについてアンケートを行なっています。
- アンケートでは、SNSでひととのつながりをつくっている状況が読み取れます。

人と仲良くなるきっかけ



どのコミュニティでの友達が多いか



●子育て世代のニーズ・仙台にお住まいの子育て世代へのインタビューから

子育ての孤独の解消

- 育児中は社会から切り離され、一日中子どもと二人のことが多いため、おしゃべりができるような場が地域にあると嬉しい
- 近くに身内がないため、緊急時に近隣の方に子どもを預けられるような仕組みがあると助かる
- 小学生になれば子供会に参加できるが、赤ちゃんの時は町内会に参加するきっかけがない

子どもたちの安全安心

- 子どもたちが安全に暮らせるように地域の見守りがしっかりしていると良い

多世代の交流

- お祭りのような子どもから高齢の方までが楽しめて、交流できる機会は大切だと思う
- スポーツ大会のような多世代が楽しめるものなら参加しやすい
- 普段から地域の交流があるところは、災害のときもスムーズに避難所対応ができていたような印象がある

地域の情報で欲しいもの

- 学校のお便りや新しく建つ建物などの情報を得られるとよい

町内会には加入しているが、実態がわかりにくい

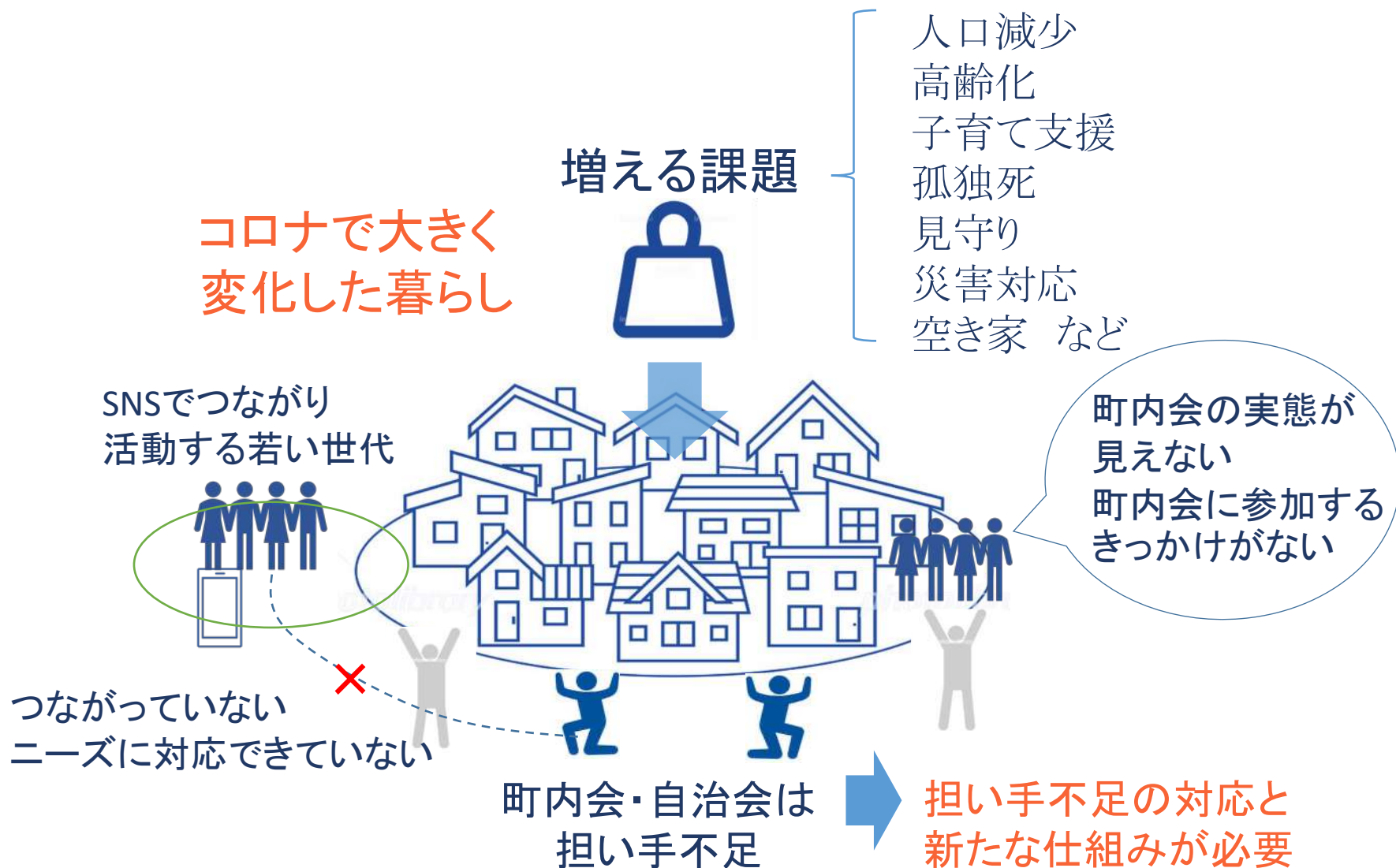
- 町内会の案内がないので、どんな活動をしているかはあまり知らない、見えにくい
- 町内会費は払っているが、何に使われているかわからない
- 活動に参加するきっかけがない
- 働きながら子育てをしているため、できないことが多い
- 回覧板は書類が多く、目を通すのが大変な時もある
- スマホで町内会の情報を見られるとよい

町内会で若い世代が活躍するために必要なこと

- 頻繁に集まることが難しい
- 同期のような同年代の役員がいれば参加しやすい
- 電話メインの連絡はハードルが高い
- 引き継ぎがしっかりとされるとよい

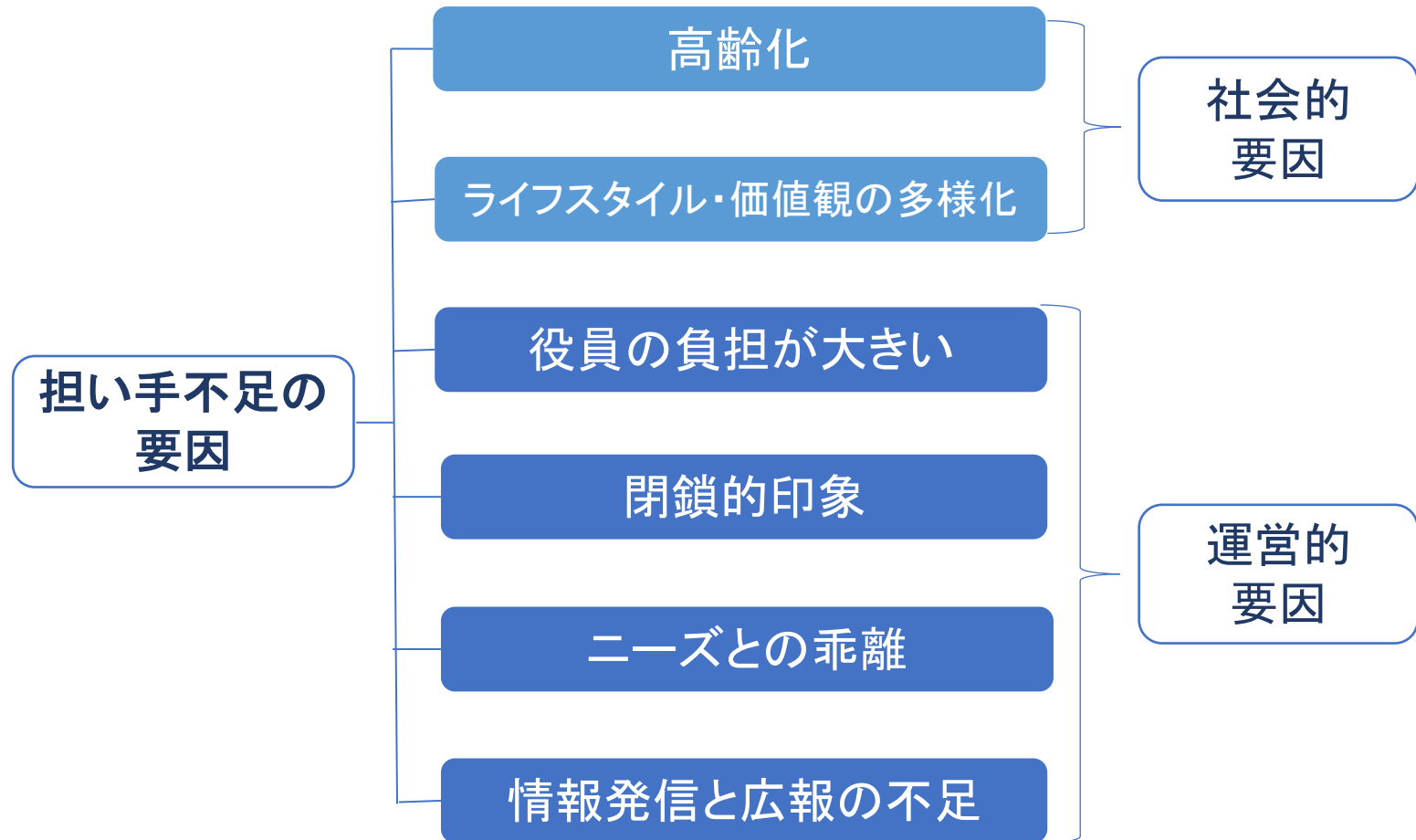


(4) 町内会・自治会を俯瞰すると



2. 町内会・自治会の担い手不足 対応のヒント

町内会・自治会の担い手不足の主要要因



高齢化

- 住民の高齢化と同時に、役員も高齢化が進み、担い手の確保が難しい状況になりつつあります。

ライフスタイル・価値観の多様化

- 賃貸住宅などに暮らす若い世代は、職場と自宅の往復の中で町内会組織を知らないこともあります。
- ライフスタイルの多様化により、住民の町内会への関心が低下しています。
- 新型コロナウイルスにより、ライフスタイルが大きく変わり、町内会・自治会に求めるニーズが変わって来ています。
- コロナ禍では、自宅にいたることが増えた若い世代が地域コミュニティに関心を持ち始めています。

役員の負担が大きい

- 地域住民の意思で運営される任意団体です。
- その運営は、ボランティア(有償ボランティアも含む)が基本です。
- ボランティア組織なのに、役員は「忙しい」などの課題があり、敬遠されがちです。
- コロナ禍では、自宅にいたることが増えた若い世代が地域コミュニティに関心を持ち始めています。
- 若い世代は、比較的ボランティア意識がありますが、現状のままだと町内会に参加してもらうことが難しいことも考えられます。



閉鎖的印象

●外部からは閉鎖的な印象～オープンな運営

- 町内会の役員会が閉鎖的で、一部の役員だけで行われているといった印象があります。
- 役員会には誰もが自由に参加できるようにします。
- 役員会は多くの方が参加できる時間帯に開催するようにしましょう。
- 役員会をオンラインで開催することもこれからは必要です。

●役員任期にも配慮

- 役員任期が長いことも閉鎖的な印象を与えてしまいます。
- 役員交代を促す仕組みも検討しましょう。

●世代交代や新たな人材を確保

- 在宅ワークなどで、地域コミュニティに関心を持ち始めた若い世代もいます。
- 世代交代を促すチャンスが来ています。
- 若い世代に届く情報発信が必要です。
- 若い世代が関心のあるテーマの活動について、協力を依頼してみましょう。

●世代交代や新たな人材の確保

こんな町内会・自治会はありませんか？

- 役員同士の絆が強すぎる・仲が良すぎる
- 役員の男女比率の偏りが大きい
- 役員の任期が長い
- 役員会は平日の昼間が多い
- 新しいことはあまりやらない
- 行事は主に高齢者を対象にしている
- 町内会・自治会の情報を積極的に発信していない

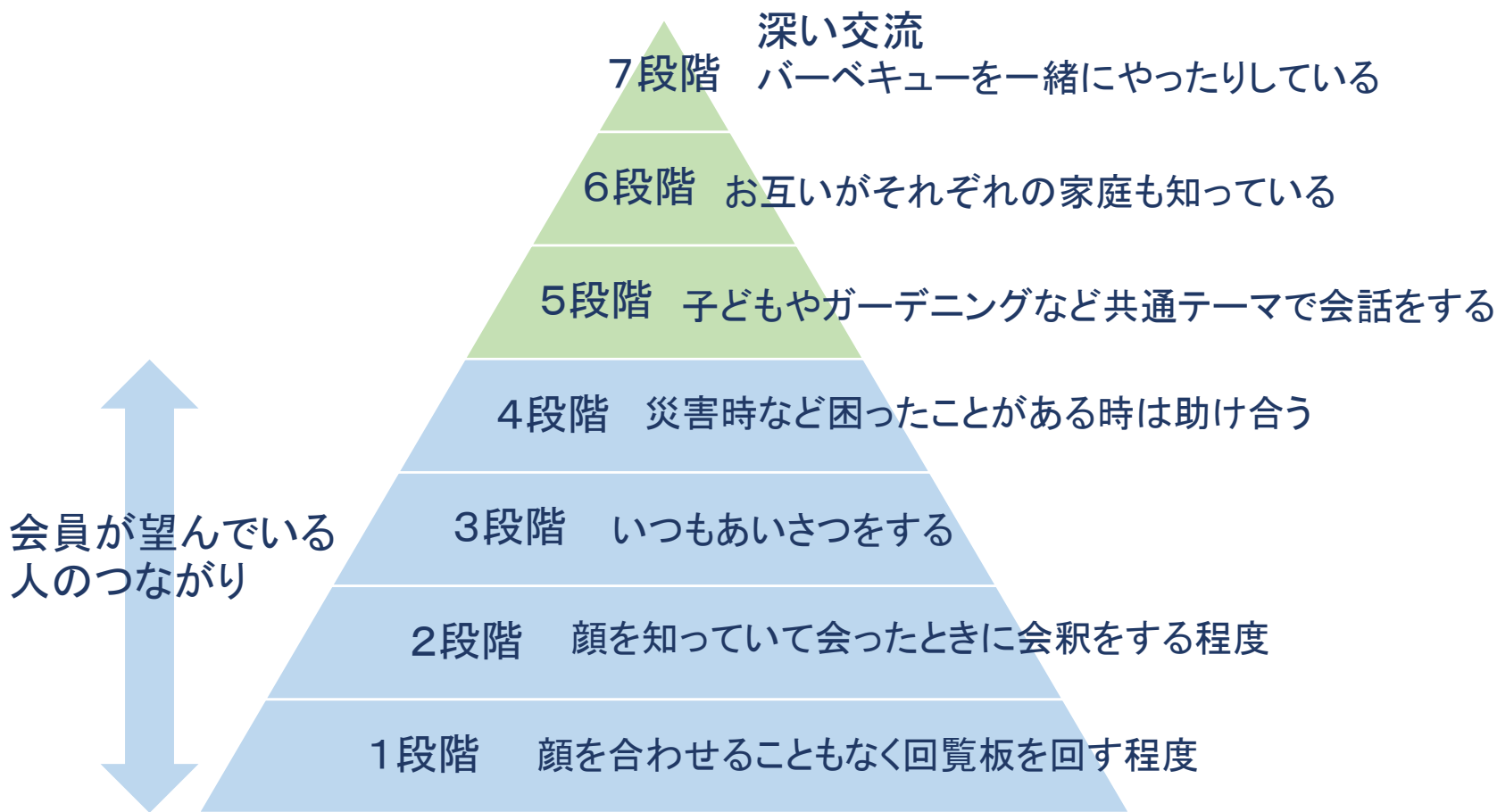


残念ながら新しい人材が参加しにくい組織です

ニーズとの乖離

- 本来、町内会の活動は、会員(住民)のニーズに対応し、『共感』を得ることが基本です。
- 会員数が多い町内会は、役員と会員の距離が出来てしまい、ニーズが十分把握できないこともあります。
- 多様化する会員(住民)のニーズを把握し、活動の棚卸しや新たな活動を展開することが必要です。
- 新型コロナウイルス感染拡大によって、会員(住民)ニーズが大きく変わって来ています。
- ニーズに対応することで、町内会の運営に理解を持ってもらい、協力してもらうことが必要です。

■ 会員が望んでいる地域コミュニティにおける人のつながり



情報発信と広報の不足

町内会の活動は知られていない

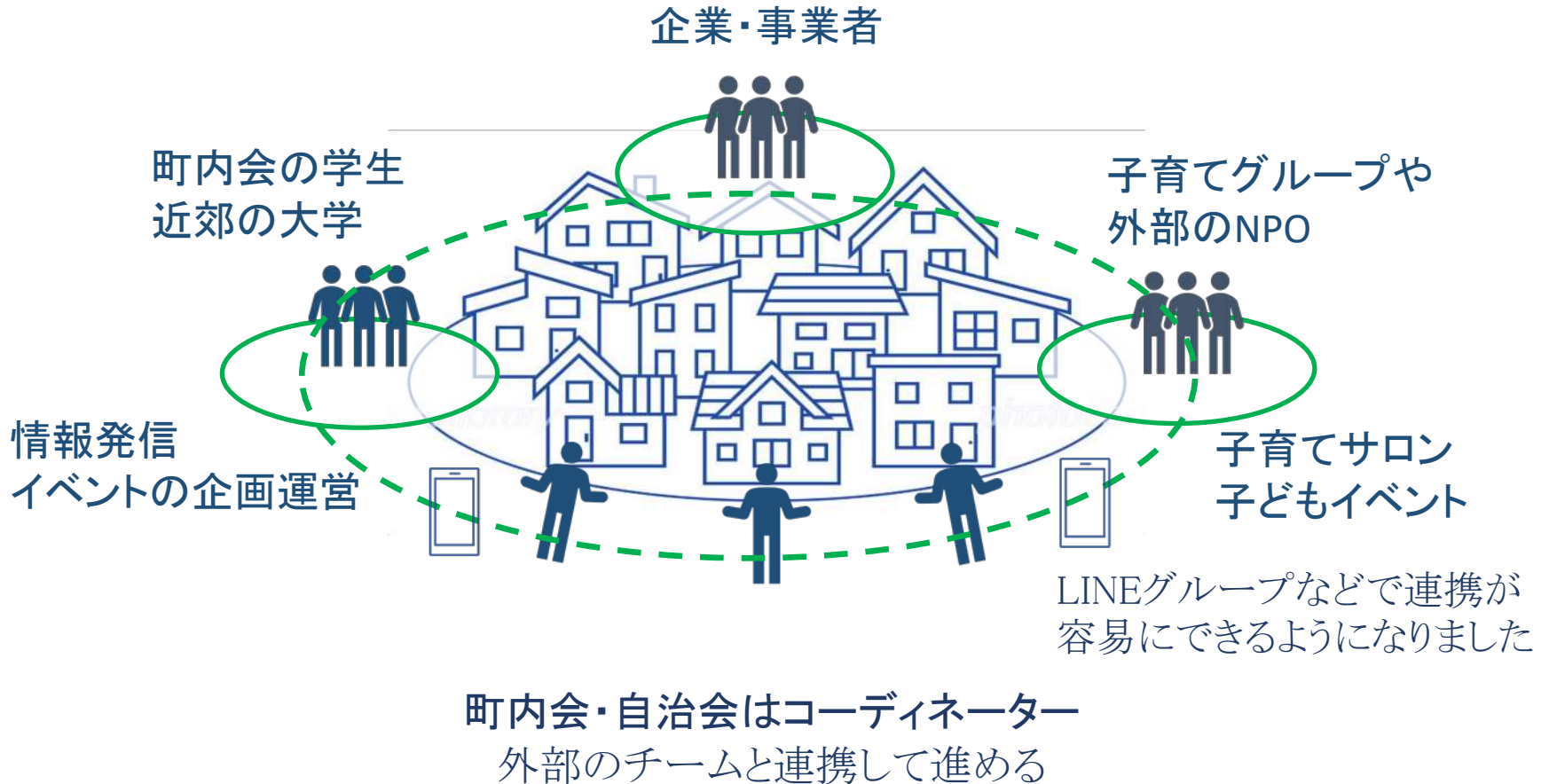
- 町内会組織や活動が知られていないことが、担い手の不足につながっています。
- 町内会の活動の「見える化」で意識してもらうことが必要です。

多様な方法で情報発信

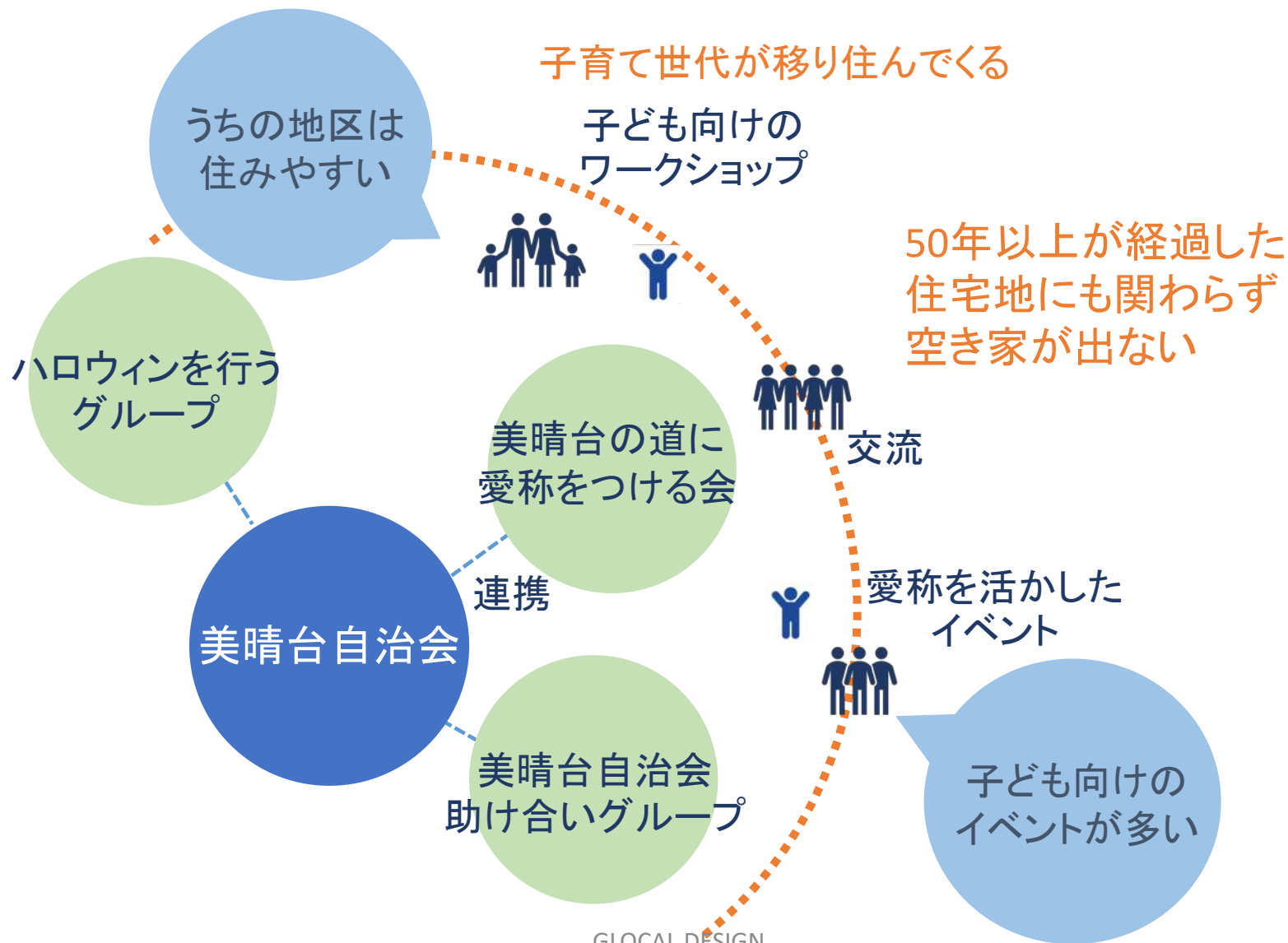
- 新聞を読まない、テレビを見ない、SNSの普及など、社会が大きく変わっています。
- 回覧板だけでは会員(住民)に情報が届きません。
- SNSの活用や電子回覧板などの工夫が必要です。
- 「町内会だより」も地域の耳寄り情報を伝えるなど工夫が必要です。

3. 新たなつながりで 地域コミュニティを活性化

(1)これからは連携して地域コミュニティを運営



地域の価値が高くなった美晴台地区のしくみ



4. 新たなつながりは3つの「かけ」から

3つの「かけ」

(1) 多様な「きっかけ」をつくりましょう

- ① あいさつ・声かけ
- ② 町内会を知ってもらう
- ③ 多様な参加のきっかけをつくる

(2) さまざまな手段で「呼びかけ」をしましょう

多様なコミュニケーションツールで呼びかける
(電子回覧板、Instagram、Facebookページなど)

(3) 顔の見える「しかけ」をつくりましょう

- ① 顔の見える組織
- ② デジタルを活用して顔の見える町内会
- ③ コミュニティの場づくり

(1) 多様な「きっかけ」をつくりましょう

① あいさつ・声かけ

- 町内会の方々があいさつをして顔の見える関係づくりを推進しましょう。
- 子どもたちは覚えていてくれます。



②町内会を知ってもらう

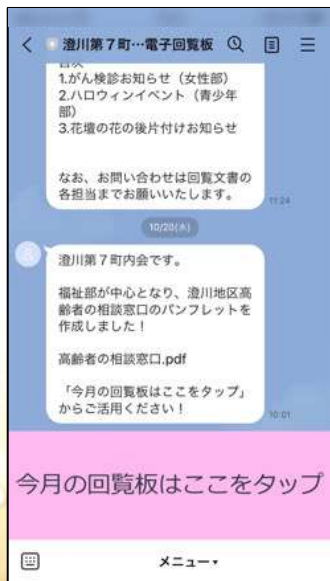
(北海道札幌市北区幌北第7町内会)

- 大学生が多く住んでいる町内会
- 町内会を紹介するチラシを配布し、町内会活動についてのアンケート調査を実施
- アンケート回答の中には大学生から「アンケートで初めて町内会の存在を知った」という声やフリーマーケットをしたい、というアイデアも出された。

The collage features several key documents:

- Brochure (Left):** Titled "ようこそ幌北第7町内会へ" (Welcome to Horiyoshi 7th Neighborhood Association). It includes sections for "町内会の主な行事・要項" (Main events and items of the neighborhood association), "安否安全" (Safety and security), "防災" (Disaster prevention), "ゆこう会" (Yukou-kai), "高齢者の見守り・巻物視察会" (Elderly monitoring and scroll inspection), "町内会の主な行事・要項" (Main events and items of the neighborhood association), "親子で楽しく暮らせるまち" (A town where parents and children can live happily), "子どもを七少科・登録し・持つ" (Register and hold 7 little children), "家族ササガササ" (Family support), and "新一年生入学の歓迎" (Welcome to new first-year students).
- Survey Form (Right):** Titled "幌北第7町内会に関するアンケートのお願い" (Request for a survey about Horiyoshi 7th Neighborhood Association). It includes the date "2021年11月吉日" and a list of questions such as "平素から町内会活動にご協力をいただき、ありがとうございます。" (Thank you for your cooperation in neighborhood association activities.) and "アンケートの回答・提出方法については、裏面に記載ください。" (Please refer to the back for survey responses and submission methods.)
- Poster (Bottom Right):** Titled "はじめまして 幌北第7町内会です！" (Hello! Horiyoshi 7th Neighborhood Association). It features a "HELLO!!" graphic and the slogan "住みやすい地域を目指し 一人ひとりの顔が見える町内会" (Aiming for a livable area where we can see everyone's face).
- Financial Report (Center):** Titled "町内会費の使い道" (Use of neighborhood association fees). It includes a pie chart showing the distribution of funds and a table of expenses.

③ 多様な参加のきっかけをつくる



●町内会への多様な参加の仕方を用意



思い切り頑張りたい！



- 夏祭りなどの行事を企画からお任せ
- 仲間を集めて活動してもらおう



誰かと一緒なら
参加できるかも



- 友だちを呼んでももらい、一緒に楽しく参加してもらおう



家庭や仕事を優先して
いいなら、手伝える



- お祭りや清掃など人手が必要などきに声かけ
- 無理ない範囲で活動してもらおう



得意なことなら
手伝ってみたい



- SNSの投稿やホームページの管理、広報物の作成など、得意なことを生かしてもらおう

●気軽に参加できる多様なイベントを開催する

親子で参加できる凧揚げイベントの開催

(北海道札幌市札幌市清田区)

- 担い手不足が課題だったため、親子で参加できるイベントを開催し、子育て世代の町内会に対するニーズを聞き取った。
- 普段、町内会活動に馴染みが少ない親子9組が参加。
- イベント後の懇親会では町内会役員と仲良くなる姿も見られた。



のんびり公園をお散歩、コーヒーチケットをプレゼント (北海道札幌市中央区円山第5町内会)

- マンションが多く、子育て世代が多く居住している町内会。
- 近隣の公園を散歩し、周辺のコーヒーショップでお茶を飲むイベントを実施(コーヒーチケットをプレゼント)
- 普段町内会との関わりの少ない子育て世代が親子で参加し、その後の清掃活動などにも参加してくれるようになった。



●子育てをきっかけに集まる～北海道南幌町

まちづくりサロンの開催



- まちづくりサロンで子育て支援のニーズや高齢者の活躍の場づくりについて意見がだされた。
- 子育て世代をターゲットにサロンを開催し、子育て世代のつながりをつくった。



小さなアクション(子どもイベント)で関心を高める

南幌町
なんほろちゅうおうこうえん
南幌中央公園のなぞをといて
向かい見せ隊
ポロレンジャー になろう!

ポロイエロー ポログリーン ポロレッド ポロブルー ポロオレンジ

いつも遊んでいる南幌中央公園には、みんなが知らないふしぎがあるかも！
ミッションをクリアして、**きみもポロレンジャーの一員になろう!**

ポロレンジャーとは？
南幌町のふしぎやでせきなところを探したり、片ったり、お話しりするヒーローです！

プログラム

- 10:00 受付 (南幌中央公園 南外ステージ前)
- 10:15 開会
- 10:20 チーム分け
- 10:35 ミッションスタート～5つのミッション～
- 11:10 お昼抜き (南幌小学校運動場)
- 12:00 閉会

会場：南幌中央公園
0時～開会スタート前
10:00-12:00 (0時:10:15～)

7/10日



●新たな取り組みをきっかけに参加してもらおう

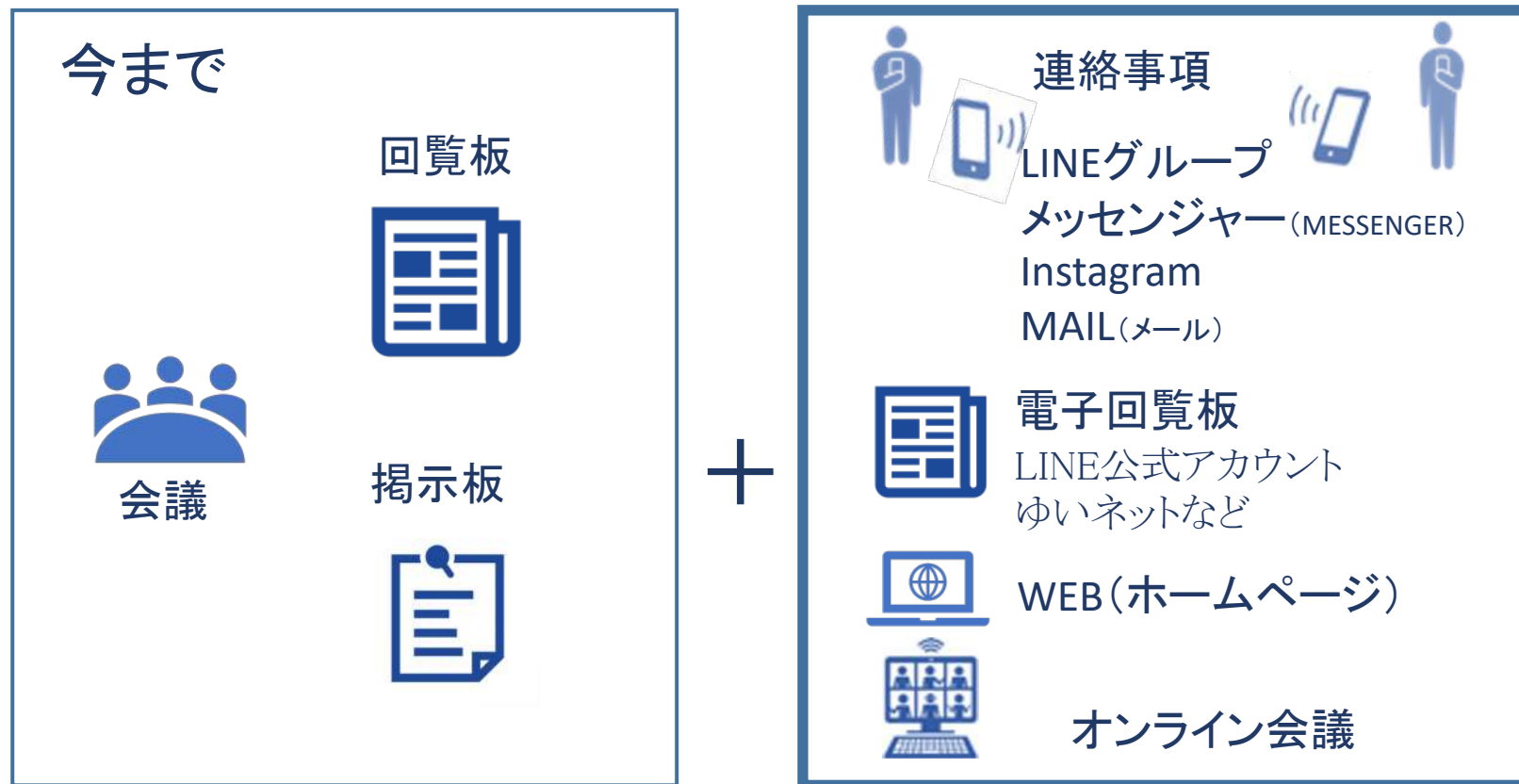
LINE公式アカウント運用をきっかけにした若い世代の参加 (北海道札幌市西区ヴェルビュータワー琴似町内会)

- 災害時などの迅速な情報共有のため、電子回覧板としてLINE公式アカウントの運用を検討
- パソコンやスマホ操作に詳しい若い世代の会員が会長声かけによって、LINE公式アカウントの運用のサポートに参加
- LINE公式アカウントは、回覧板に登録を促す文章を掲示したり、イベントごとに登録を案内することで、認知度があがった



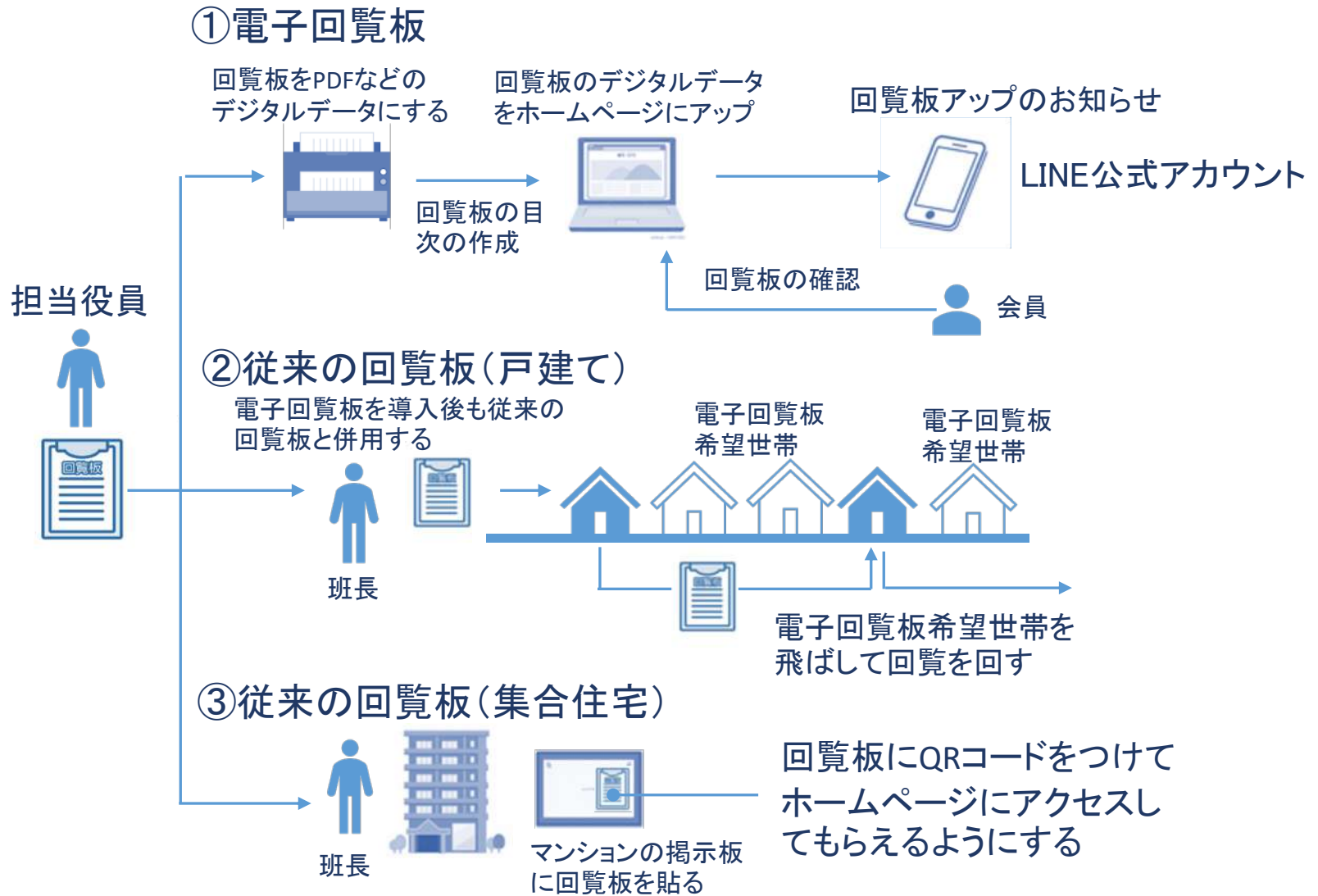
(2)さまざまな手段で「呼びかけ」をしましょう

- 多様なコミュニケーションツールで呼びかけましょう



コミュニケーションツールの多様化

●電子回覧板の導入イメージ



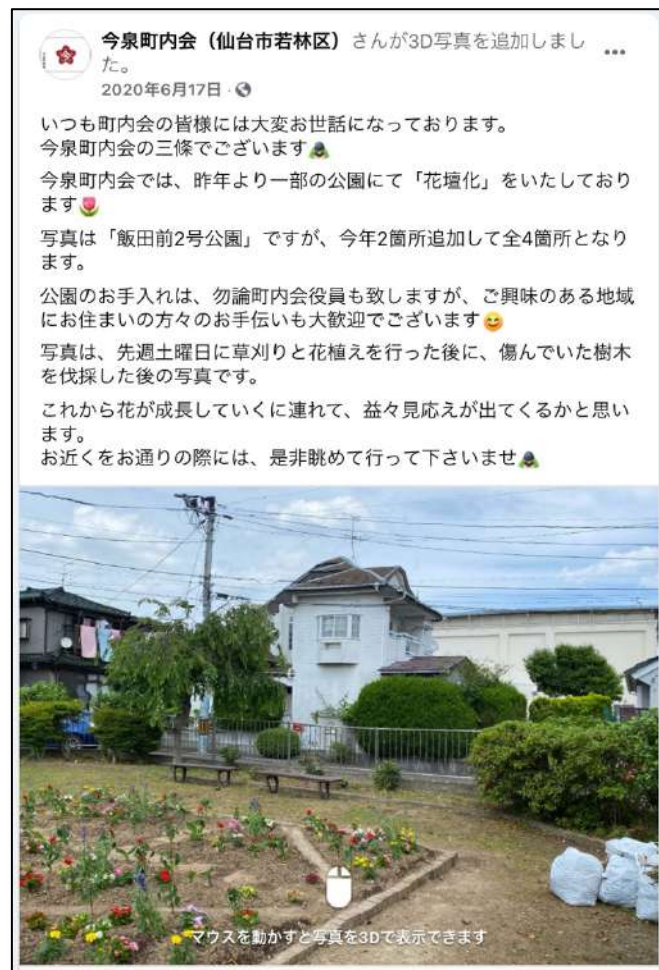
Instagramを用いた町内会の情報発信 (北海道千歳市みどり台北町内会)

- 若い世代が多く居住しているという特性から、Instagramを用いた情報発信を行なっている。
- ハロウィンや節分、新一年生のお祝いなど子ども向けのイベントの告知や開催結果の報告などを行なっている。
- また、町内会の会費の案内やボランティアの募集などの案内も行なっている。



Facebookページで広報 (仙台市若林区今泉町内会)

- 町内会の情報をFacebookページで写真付きでアップし、広く周知
- お祭りなどのイベントはFacebookのイベントページ機能を用いて告知



充実した内容で町内会活動を親しみやすく

(北海道札幌市中央区宮の森中央町内会)

- 地域の特徴や町内会の役割を丁寧に紹介。
- 豊富な写真で町内会活動の様子をわかりやすく紹介し、町内会活動への参加を呼びかけ、町内会に関わりの少ない世代にもどのような参加の方法があるかを紹介している。
- 町内会の基本的情報や問い合わせフォームをホームページに掲載し、Facebookページは日々の活動報告や何気ない地域のニュースなどを紹介することで、より町内会を身近に感じてもらえるような工夫がされている。



代表的なSNSや電子回覧板ツール



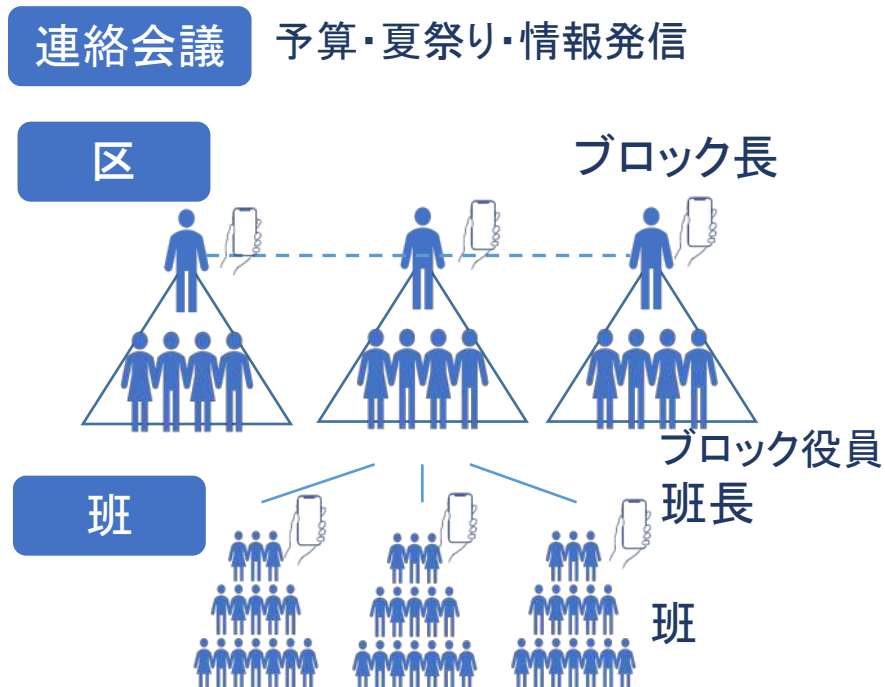
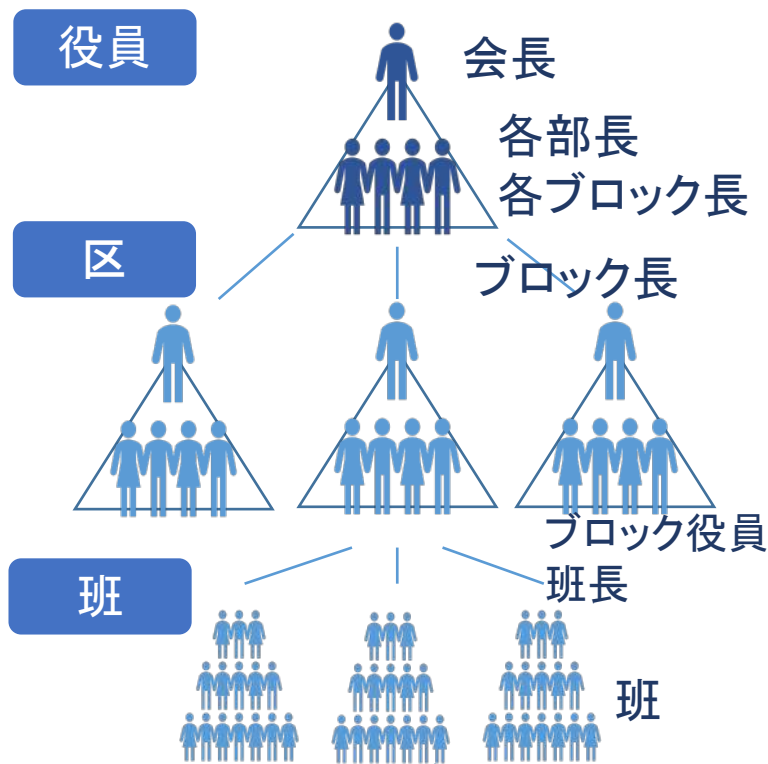
札幌市発行「町内会の電子回覧板導入の手引き」より

(3) 顔の見える「しかけ」をつくりましょう

① 顔の見える組織

世帯数が多い町内会は、顔の見える運営体制に見直すことも大切です。

■ 顔の見える体制の見直しイメージ



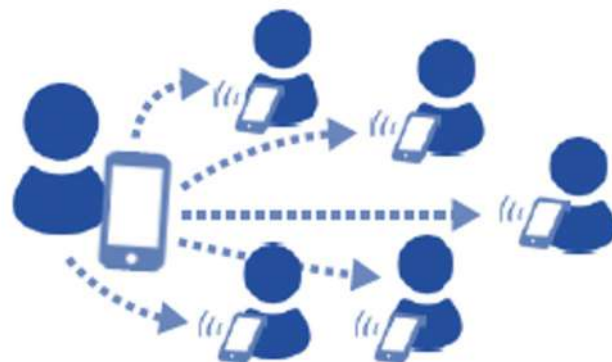
顔の見える関係で実情にあった活動
デジタル化でフラットな体制へ

デジタル化でフラットな体制

- デジタル化で従来の何層もあるピラミッド型の体制を取らなくても情報共有や意思決定ができるようになってきています。
- デジタルで顔の見える関係づくりを進めましょう。

デジタル化の特徴

- 情報がすばやく一斉に届く(手渡しによる受取の時差がない)
- 緊急時の情報発信にも役立つ
- どこにいても情報が受け取れる
- 過去の内容が見返せる
- 若い世代も情報を受け取りやすい など



②デジタルを活用して顔の見える町内会 (北海道千歳市白樺町内会)

Web会議ツール「Zoom」で町内会役員会・総会を実施

- 新型コロナウイルスの感染予防対策、また、事業の効率化を目的として「Zoom」の講習会を兼ねた役員会議のデモンストレーションが行われました。
- 高齢の役員も多い町内会ですが、スマホやパソコンの使い方などをお互いに学び合いながら、町内会活動に活用しています。



③コミュニティの場づくり

- 団地の再生では、団地内のハードの資源(空き店舗、集会所、住棟)を住民や地域市民・地域に開放して、「場」づくりを進めるケースが多いようです。
- コミュニティの場づくりは地域コミュニティ活性化にとって大切なきっかけであり、しかけです。

●若い世代は身近な場所にコミュニティの場を望んでいる

コミュニティの場の要件

- 気軽に行ける
- 適度な会話がある
- 徒歩圏内
- 新規の人も行きやすい
- まちにあった景観(デザイン)
- 明るい雰囲気を持っている
- 家のリビングのような場所



●町内会館を居酒屋に（北海道札幌市豊平区旭水町内会）

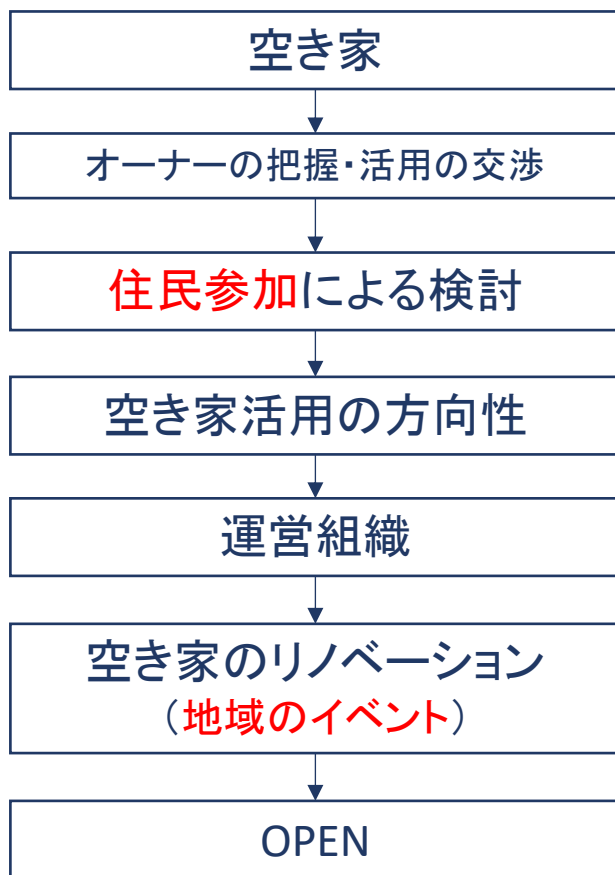
- 役員の担い手不足や町内会行事に対する参加者の固定化が課題
- 近隣に大学があるため、学生や若者が多かったことなどから、世代間交流事業として、町内会館で居酒屋を開催した。
- PTAや「おやじの会」、大学生なども手伝いに来てくれ、町内会に関わるきっかけになった。



●コミュニティの場づくりは参加型で

Community Build

- 空き家の活用を考えることで、地域コミュニティの再構築・活性化につなげます。



●空き家・空き施設を活用したコミュニティの場づくり


ひとり暮らしの高齢者の
さりげない見守り


子育て世代を
コミュニティが支援


孤独を感じている
単身者との交流


コミュニティに関わる
きっかけ

空き家・空き施設
コミュニティの場




地域の人々による
運営組織
NPOなど

活用メニュー



ミニ図書館



コミュニティカフェ



地域食堂



ヘルスケア



学童保育



交流イベント

●コミュニティの場で様々な活動を展開

NPO法人麻生キッチンりあん: 藤女子大・商店街とも連携して活動



● 商店街の空き店舗（網走中央商店街）



- 商店街の空き店舗を活用して、市民が集まることができるコワーキングスペースを整備しました。
- コワーキングスペースでは町内会の会議を開催しています



●岩手県花巻市 コミュニティカフェ「こっぽら土澤」



空き家からスタートした取り組みが高齢者住宅に



ワンデイシェフの大食堂

ワンデイシェフの大食堂は、地元産の食材を使い、旬の食材を活かしたメニューを提供しています。

日	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

ご予約いただいたお客様には給食券プレゼント

11月上旬の予定

●札幌市 西区ふくい会館



- 2014年に閉鎖となった幼稚園の払い下げを受けて、会館のリノベーションを行いました。
- 多様な活動の場として広く利用されており、収益を生んでいます。



ワークショップ

顔の見える関係づくり

グループで話し合うこと

ケーススタディをしましょう

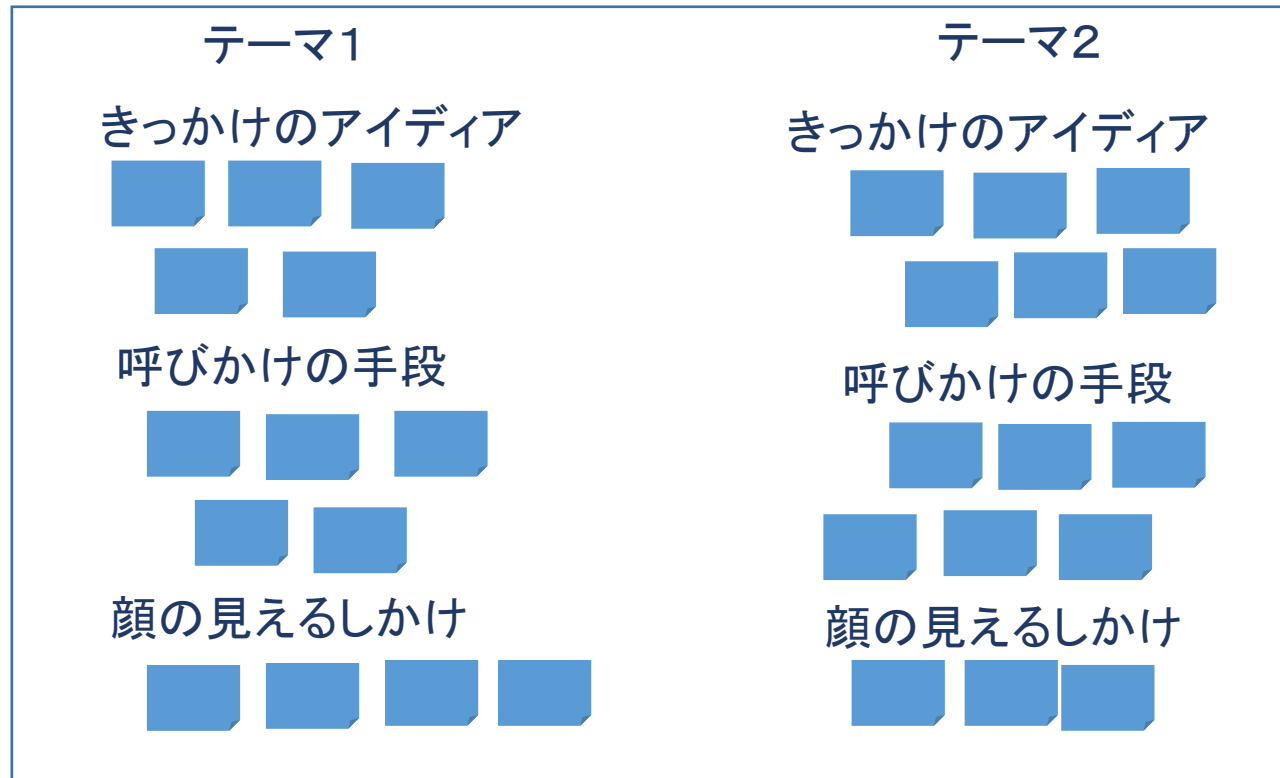
【テーマ1】

- 最近、新たな住宅地(20戸)ができました。
- 子育て世代や40代前半の家族が引っ越してきました。
- 全世帯、町内会にはまだ加入していません。
- 新たな住宅地の皆さんと顔の見える関係づくりをどのような手順で築きますか。

【テーマ2】

- 町内会には、賃貸マンションが多く若者や子育て世代多く住んでいます。
- 町内会費は、不動産会社を通じて収めてもらっていますが、町内会の活動には参加してもらえていません。
- 災害時の助け合いなどを考えると、こうした賃貸マンションの若者や子育て世代にも町内会活動に参加してもらいたと思っています。
- このような町内会で顔の見える関係づくりを何を行いますか。

- 「きっかけ」をどのようにつくりますか
- 参加の「呼びかけ」をどのようにしますか
- 顔の見える「しかけ」は何をしますか



ワークショップの進め方

- 各グループの中で、「**進行役**」「**書記**」を決めてもらい、グループでの意見交換を進めます。
- 「**進行役**」の方は、グループ内のメンバーから意見を出してもらうなど話し合いの進行を行います。
- 「**書記**」の方は、グループメンバーの発言を付箋紙に書き留めていきます。

グループでの話し合いの進め方

①グループのメンバーで自己紹介

5分

おひとり 1分 でお願ひします！！

②各グループのなかで、「進行役」「書記」を
決めてください。

2分

※指名でも、立候補でも、じゃんけんでもいいです！

※**2分間**で決めてください！

話し合いのときの約束事

- 話は短めに(話しすぎ注意)
長くても2~3分/人くらいが目安です!!
- 違って当たり前(否定しない)
- 話をつなげる(話を楽しむ)
- アイデアは質より量